

平成30年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第2回 重心・要医療的ケア 部会	参加者数	61人	会場	長野県伊那養護学校 ひまわりルーム
	日時	平成30年7月3日(火) 10:45 ~ 12:15				
主 テ マ	1 つくし進路福祉懇談会(部会として参加)					
主 な 意 見 な ど	<p>1 について(司会・進行:伊那養護学校 伊藤教諭)</p> <p>(1) 辰野アドバイザーあいさつ(自立支援協議会の概況について)</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>○学校側で用意された9つの協議題に沿って、保護者の困り感や要望をお聴きしつつ、懇談が進行した。</p> <p>ア 生活介護事業所等への障がい児者受入の広がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活介護事業所見学に行ったが、座位のとれない方は利用できない浴槽だった。事業所開設前に、利用者の声を聴いてほしい。子ども病院では移動式バスタブで入浴を行っている。ぜひ検討を(保護者) →新事業所設置の際、当事者・家族も交え関係者で事前協議できるシステムができるとよいと思う(部会長) ・卒後、地元の事業所を利用したいと考えているが、現在、生活介護事業を行っていない。生活介護事業が拡大し、誰でも地域で安心して暮らせる環境を作ってほしい(保護者)→要望を伝えていきたい(南箕輪村) ・トイレに関して、大人用のおむつ交換台の設置が南信ではまだまだ進んでいないと感じる。病院でも、ユニバーサルおむつ台シートをぜひ採り入れてほしい(保護者) <p>イ 老人保健施設への障がい児者受入の広がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はびろの里をぜひ利用したいと考えている。将来的には宿泊型短期入所の受入も実現してほしい(保護者) ・地元の老人保健施設がもっと利用できるようになってほしい(保護者) →はびろの里では、現状マンツーマンで入浴・リハビリ等を行っているが、介護職不足が他の老人保健施設では受入のネックになっている様子。宿泊型の受入は現状難しいが、日中活動の場として、入浴・リハビリ等の利用希望は多いので、体験等を通して受入体制整備を今後も検討していきたい(はびろの里) <p>ウ 医療機関への障がい児者受入の広がり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田中病院では小児科が新設されたとき。今後、重心児者受入の懇談予定はあるか(保護者) →昨年度までに5病院を訪問し、受入要請をしてきた。具体的な受入につながったところはないが、田中病院の小児科新設の話を受け、田中病院には改めて訪問、懇談をしたいと考えている(部会長) ・昭和伊南総合病院で1泊2日のリハビリ入院を体験したが、2日ともリハビリが受けられ、大変助かった。今後入浴も可能になると、なおありがたい(保護者) →空床型だと、冬場はベッドの空きがない。逆に感染症流行期でもあり、利用をキャンセルされる方もいる。病院は生活の場ではないため生活カリキュラムを組むのが難しいが、工夫していきたい(上伊那生協病院) <p>エ 地域の中で暮らしていく環境(地域生活支援拠点整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点整備の進捗状況について、教えてほしい(保護者) →緊急対応必要者の数的把握はできている。緊急受入先施設として、大萱の里、西駒郷、駒ヶ根悠生寮に依頼しており、具体的な契約が進むよう考えている。台帳整備も並行して行っている。今後、緊急対応が必要な方への予防的支援として、体験の場の確保等を進めていく予定である(きりりあ 田中所長) <p>オ 入浴・ショートステイ・リハビリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問入浴が大変助かっている。現在、週1。できれば、回数を増やしたい(保護者) ・例えば、放課後等デイサービス事業所等でも移動式バスタブでの入浴が可能となしてほしい(保護者) →訪問入浴は週1という決まりは要綱にはない。行政も制度の枠組みの中、柔軟な運用をしたい(箕輪町) →入浴に関しては、実費利用でもよければ、他に使える社会資源もあると思う(事務局) ・医療的ケアの有無に関わらず、重心児者が、医療型、福祉型短期入所を利用できる環境整備を(保護者) <p>カ 車の改造費補助に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者本人が運転する車の改造費は補助があるが、障がい児家族運転の車には補助がない(保護者) →ご意見があったことを伝えていきたい(伊那保健福祉事務所) <p>キ 災害時への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時、メールで医療品はどこで買えるか等、小さな情報を細かく流していただけるとありがたい(保護者) →福祉課や災害担当窓口へ市町村担当者の方は、ぜひ要望を伝えてほしい(部会長) <p>ク 1人1人に合った食の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形態食の導入について、その子に合った食をぜひ提供してほしい(保護者) →今後、食材加工業者も増えてくれば、生活介護事業所でも採り入れられるようになると思う(副部会長) ・福祉避難所には、レトルトのおかゆなども用意しておいていただけるとありがたい(保護者) <p>ケ サービス対象者の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療型短期入所は歩行できると対象外になってしまう。ぜひ対象の門戸を拡大してほしい(保護者) →放課後等デイサービス事業所では、今後重度の方の受入を検討しているところもある(事務局) 					
ま と め	・つくし進路福祉懇談会に部会として参加し、当事者(保護者)の貴重な声をお聴きすることができた。					
次 回	・詳細については、決まり次第、お伝えする。					